

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年9月10日

【評価実施概要】

事業所番号	0172902439		
法人名	医療法人社団 及川医院		
事業所名	グループホーム おいかわ		
所在地	北海道旭川市豊岡4条10丁目4番1号 (電話) 0166-36-0303		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成20年9月5日	評価確定日	平成20年9月11日

【情報提供票より】(平成20年8月13日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)17年 11月 21日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	22 人	常勤 16人, 非常勤 6人, 常勤換算	12.6人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨	造り
	2階建ての	1~2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	27,600 円	その他の経費(月額)	21,000~27,000 円
敷金	有(円)	無	
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	1,300 円	

(4) 利用者の概要(8月13日現在)

利用者人数	18 名	男性	4 名	女性	14 名
要介護1	2 名	要介護2	3 名		
要介護3	8 名	要介護4	3 名		
要介護5	1 名	要支援2	1 名		
年齢	平均 84.2 歳	最低	66 歳	最高	96 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人社団 沼崎病院・医療法人社団 及川医院
---------	-------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

閑静な住宅街と交通の利便性に優れた中に開設されて、地域や家族に信頼の厚い母体医療法人が運営するグループホームです。医療面で他施設の受け入れの少ない透析、遺漏、ストーマー、インスリン患者等の受け入れを行い看護、介護の両面が充実しています。「おいかわ夏祭り」は、毎年8月に開催され町内会の人達や家族、親戚、知人等多数参加され認知症に対する理解や啓発活動も行われていたり、近隣の保育園との交流やマジックショーや歌謡などの地域のボランティアの受け入れで利用者の楽しみごとにもなっています。身体機能の維持・向上のために食事の前には、嚥下や舌下体操の取り組みや喫煙する利用者には、専用の喫煙室も用意されています。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では、運営推進会議での取り組みについて改善点が見出されていましたが、地域の人々から理解が得られるような具体的テーマで開催されています。また、利用者の徘徊の問題などについて地域の人達からの意見や要望など運営に反映される取り組みが実践されています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価は、職員間で話し合われケアサービスの質の向上に利用されています。また、外部評価の結果については、具体的な改善活動に利用されたり、運営推進会議に報告され意見交換されています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、本年度 評価日現在2回開催されています。議題は 夏祭り行事の開催について 帰宅願望の強くなってきている利用者への対応について 各委員からの意見・要望について 徘徊についての意見交換 次回開催の運営推進会議について意見交換
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 利用料金は、毎月家族が持参されるので来訪時に日常生活の様子や健康状態の報告や家族からの意見、要望、不安な点など話し合われています。また、「状況報告書」を作成して、来所できない家族等に報告されています。また、ホーム主催の行事や運営推進会議への家族の参加で種々の意見交換が行われています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) ヘルパー実習や地域のボランティアの受け入れ、保育園児との交流が積極的に行われています。また、毎年開催される「おいかわ夏祭り」では家族、親戚、知人、地域の人々との交流が行われていたり、町内会に加入して、町内清掃や餅つき大会などの行事参加を通じて、地域との連携が行われています。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中でその人らしく暮らし続けていくことを支えるサービスとして、事業所独自の理念を作り上げ来訪者に分かり易い場所に掲示している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、日々の業務や毎月実施される全体会議を通じて、その実践に向けて日々取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	ヘルパー実習や地域のボランティアの受け入れ、保育園児との交流が積極的に行われている。また、毎年開催される「おいかわ夏祭り」では家族、親戚、知人、地域の人々との交流が行われていたり、町内会に加入して、町内清掃や餅つき大会などの行事参加を通じて、地域との連携が行われている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は、職員間で話し合わせケアサービスの質の向上に利用されている。また、外部評価の結果については、具体的な改善活動に利用されたり、運営推進会議に報告され意見交換されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は、本年度 評価日現在2回開催されている。委員は、家族、町内会役員、民生委員、介護支援専門員、管理者・職員で構成され、評価を活かして具体的改善に取り組んでいる。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>管理者は、旭川市担当者との連携の重要性について充分理解し、相談や連携をとりながらサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>利用料金は、毎月家族が持参されるので来訪時に日常生活の様子や健康状態の報告や家族からの意見、要望、不安な点など話合われている。また、金銭管理についても都度報告されている。「状況報告書」を作成して、来所できない家族等に報告されています。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族等の来所持に要望や意見交換が行われ、そこでの意見を運営に反映させている。また、ホーム主催の行事や運営推進会議への家族の参加で種々の意見交換が行われている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の離職率は低く、管理者は職員の異動などで利用者に影響を与えないように配慮している。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>医療法人やケア研究会での研修参加や看護師による勉強会実施でケアと医療面での内部研修が実施されている。また、毎月開催される全体会議でケアサービスの質の向上の取り組みが実践されている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホームケア研究会に参加して、同業者との交流や連携が行われている。</p>		<p>今後はさらに、他同業者との交流の機会を増やすことが計画されているので、さらなる交流促進に期待します。</p>
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>本人が安心して、納得した上でサービスが利用できるように、入居前には利用者・家族の見学などで不安を解消する取り組みが実践されている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は、利用者と一緒に花壇の手入れや草むしり、畑作業などを行い本人の希望や思いを大切に支えあう関係を築いている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	利用者一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向を尊重して、コンビニエンスストアや大型スーパーでの買い物や弁当持参で公園散歩、ホーム行事や町内行事への参加など支援されている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、利用者、家族の希望や医師からの助言、職員からの意見を取り入れ具体的な介護計画となっている。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	介護支援専門員の適切な監理のもとに、介護計画書に記載している個別の期間を目安に評価を行い、見直しが行われている。また、利用者・家族の要望や利用者の状態変化に応じて期間終了前であっても都度、現状に即した介護計画の見直しが行われている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、外出や外泊時の送迎や通院の支援など柔軟に行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	利用者を良く知る看護師が配置され、母体医療法人との連携で気軽に相談できる医師が確保されている。また、定期的な往診など適切な医療が受けられるよう支援されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	母体医療法人や看護師と連携して、重度化した場合や終末期のあり方について、利用者・家族と相談しながら対応できるように職員間で共有されている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりの誇りやプライバシーを尊重した声かけなど支援されている。また、記録等の個人情報の扱いについては、入居時に説明し、個人情報保護法に対応した取り組みが行われている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切に、花壇の手入れや畑作業、公園までのドライブ、スーパーでの買物など本人の希望に沿って支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみなものになるよう、本人の希望や力量に応じて食事の準備や後片付けをしている。また、回転寿司やバイキングなど外食の支援も行われている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、週2回を目安に入浴が楽しめるように支援されている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	職員とともに買物にでかけたり、花火大会見物や回転寿司やバイキングなどの外食など気分転換のための機会も多くつくられている。また、喫煙者には専用の喫煙室が設けられている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日常的に散歩やスーパー・コンビニでの買い物、ドライブでの公園散策など戸外に出かけられるように支援されている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	運営者及び全ての職員は、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、家族や運営推進会議で話し合わせ安全面で配慮した取り組みが行われている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	資格を持った防火管理責任者が配置され、火災避難訓練が定期的実施されている。また、看護師による救急救命の訓練が内部研修で実施されている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスや摂取カロリーについて栄養士のアドバイスを受け対応されている。また、具体的な水分や食事摂取量が把握され支援されている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	敷地内の畑や花壇では、四季おりおりの花や野菜が栽培され季節感が感じられるように工夫されている。また、廊下や居間などの共用空間では、利用者にとって気になる臭いや音の大きさは感じられない。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、テレビ等の家電製品や箆笥などの使い慣れた家具、家族の写真などが飾られ安心して過ごせる場となっている。		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。